

東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点の役割

内閣府
広域防災拠点施設

国土交通省
首都圏臨海防災センター

平成20年4月供用



平成20年6月供用



東扇島地区 約15.8ha

緊急物資中継拠点

港湾施設を活用し集積された食料、飲料水等を被災地へ輸送する

物流コントロール

物資の集積、荷捌き、分配、搬出等

活動拠点

警察、消防及び自衛隊の各部隊

東京都

川崎市

有明の丘地区 約13.2ha

緊急災害現地対策本部

現地における被災情報の取りまとめ、災害応急対策の調整

活動拠点

警察、消防及び自衛隊の各部隊

広域医療搬送の拠点等

がん研 有明病院



東扇島地区

平常時 環境に配慮した、海と緑と人がふれあう緑地

発災時 緊急物資輸送拠点として、物資を搬入保管できる広いスペースを確保

公園として港湾管理者である川崎市が管理

防災拠点として国が管理

平成20年4月 供用開始

全体的規模は約15.8ha。
救援物資などの海上輸送、河川舟運、陸上輸送への中継基地。
広域支援部隊の一時集結地、ベースキャンプとして機能します。



発災時
東扇島基幹的広域防災拠点施設
救援物資の量や行き先をコントロールする内閣府の施設

発災時・ヘリポート
ヘリコプターによる活動要員や物資輸送を行う施設

平常時・人工海浜
夏場物資を運び小島間の海の横出し施設

発災時・舟運基地
夏場物資を運び小島間の海の横出し施設

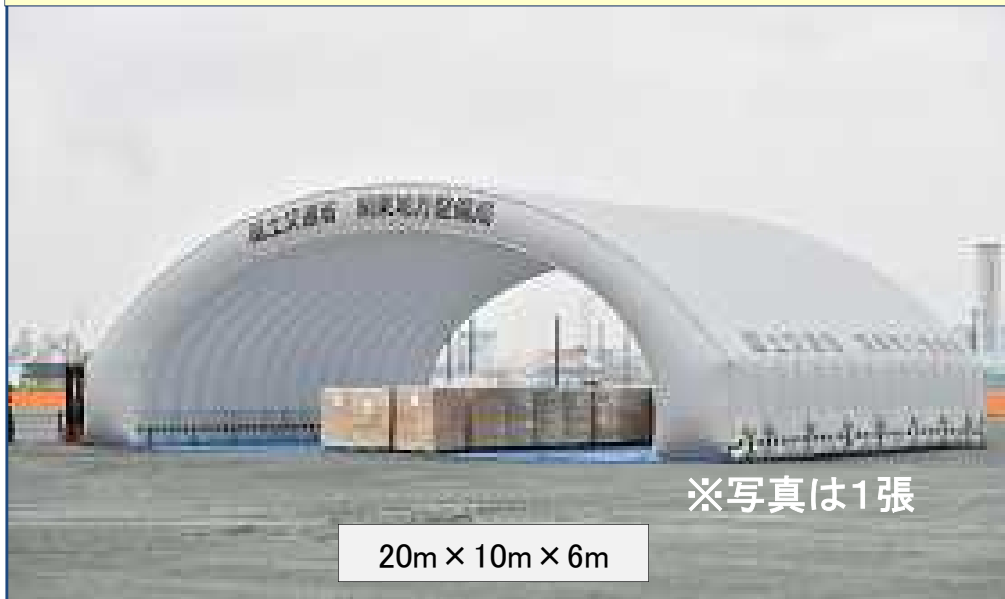
平常時・芝生広場
広域支援部隊がテントの設置を行い、救援活動を行うためのスペース

平常時・多目的広場
発災時・広域支援部隊等ベースキャンプ

平常時・多目的広場
発災時・物資輸送中継基地
救援物資を効率的に輸送できるように整理する広場のスペース。物資の集積、表積出、分荷

国土交通省関東地方整備局港湾空港部
首都圏臨海防災センター
防災時には広域防災拠点として迅速に備用させるため拠点内の広場、礼拝堂を行うとともに緊急物資輸送の支援を行う

エアートント(3張)



※写真は1張

20m × 10m × 6m

砕石(40,000m³)



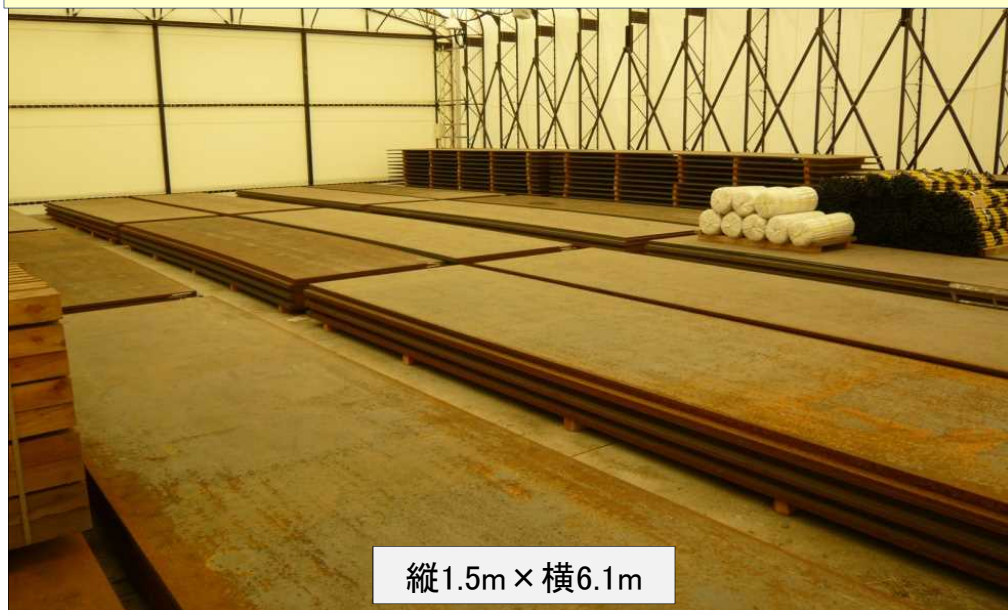
発電機、投光機付発電機



発電機40台

投光機付発電機50台

敷鉄板(500枚)



縦1.5m × 横6.1m

■ 東日本大震災への対応

福島第一原発へのバッテリー緊急輸送協力



ヘリ用の夜間離着陸用灯火を整備局職員が設置

東扇島防災拠点からは投光器付発電機21台、食料が九州地方整備局の大型船「海翔丸」によって仙台塩釜港に輸送



海翔丸甲板に積み込まれた投光機付発電機

■ 茨城県常総市への支援資機材の提供

東扇島防災拠点における投光器積み込み



常総市災害対策本部での使用状況



常総市役所での積卸し状況



携帯電話の充電用電源としても活躍



常総市役所での使用状況



■ 令和元年台風15号の資機材支援

投光器の館山市への支援



2019/09/11
18:21



2019/09/11
18:09



2019/09/11
18:14